

総合的な探究の時間の第1の目標

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

地域貢献の意識を持ち行動するために、主体的かつ粘り強く学習する生徒の育成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

すべての生徒が以下の資質を身に付け、かつ実践できるようになるための教育活動を、地域や家庭と連携して提供する学校

- ① 主体的に学校生活に取り組み、自らの学校生活を充実させることができる
② 一人の人格として尊重され、自己実現・進路希望の実現を図ることができる
③ 多様性を尊重し、課題に対して協力して解決を図ることができる
④ 一市民としての意識を醸成し、社会に寄与することができる

総合的な探究の時間の学習評価

- ① 実社会に必要な知識や技能を身に付けるようにする。
② 論理的に考える力を伸ばし、協働作業を通じて、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
③ 他者との関わりの中で解決する力を高める。

生徒の実態

○生活面学習面共に真面目で協調性に富むが、積極的意欲的に他を取り込む力が不足している。

生徒の発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする生徒への指導

- 個に応じたきめ細やかな指導
○各生徒の情報と対応の共有
○外部機関との連携

目指す生徒の姿

- 自立的・継続的に取り組む
○自分を広げる事に意欲的
○多様性の尊重
○社会で生きる力の獲得

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力）

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- ① 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
② 実社会や実生活と自己の関わりから問いだして見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになる。
③ 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

学習活動、指導方法等

- 市役所の現状と課題について
① 調べ学習・資料作成・ディスカッション・発表
② 夏休み 職場体験（有志による参加）
③ 未来をかたる場ミーティング（有志による参加）
○在日留学生との浅草街探索
○市内ボランティア活動
○副教材エナジードコアの活用
○輝緑祭（文化祭）話し合い
○「みらい土曜塾」
○大学見学会（茨城大学見学・道の駅笠間施設見学）
○つくばみらい市役所 講演（つくばみらい市の現状と課題）
発表の準備
① つくばみらい市の施策について興味のある分野を決めて同じ分野同士で班を作り、調べ学習をする。
② スライド作成
③ 発表練習
④ 発表後 修正
⑤ 校内中間発表
⑥ つくばみらい市役所職員に向けて提案・発表
○伊奈特別支援学校との交流会（レクレーション・浅草街探索の発表）
○合格体験を聴く会

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- 市役所職員や地域の企業や職業人に協力して頂き、体験学習を充実させる。
○インターンシップや中間発表会などで職業人から意見を頂く。
○探究PJTチームで、学年で意見を交換したり、学年を超えて共有したりして内容をブラッシュアップしていく。
○タブレット端末をはじめとするICTの活用の充実。
○事前指導や事後指導では、言語活動の充実を図る。
○外部講師を招き、他校の例を参考に副教材の使い方の研修を適宜受講し新たな教材に挑戦していく。
○公開授業などで発表し、保護者に共有する場を設けていく。